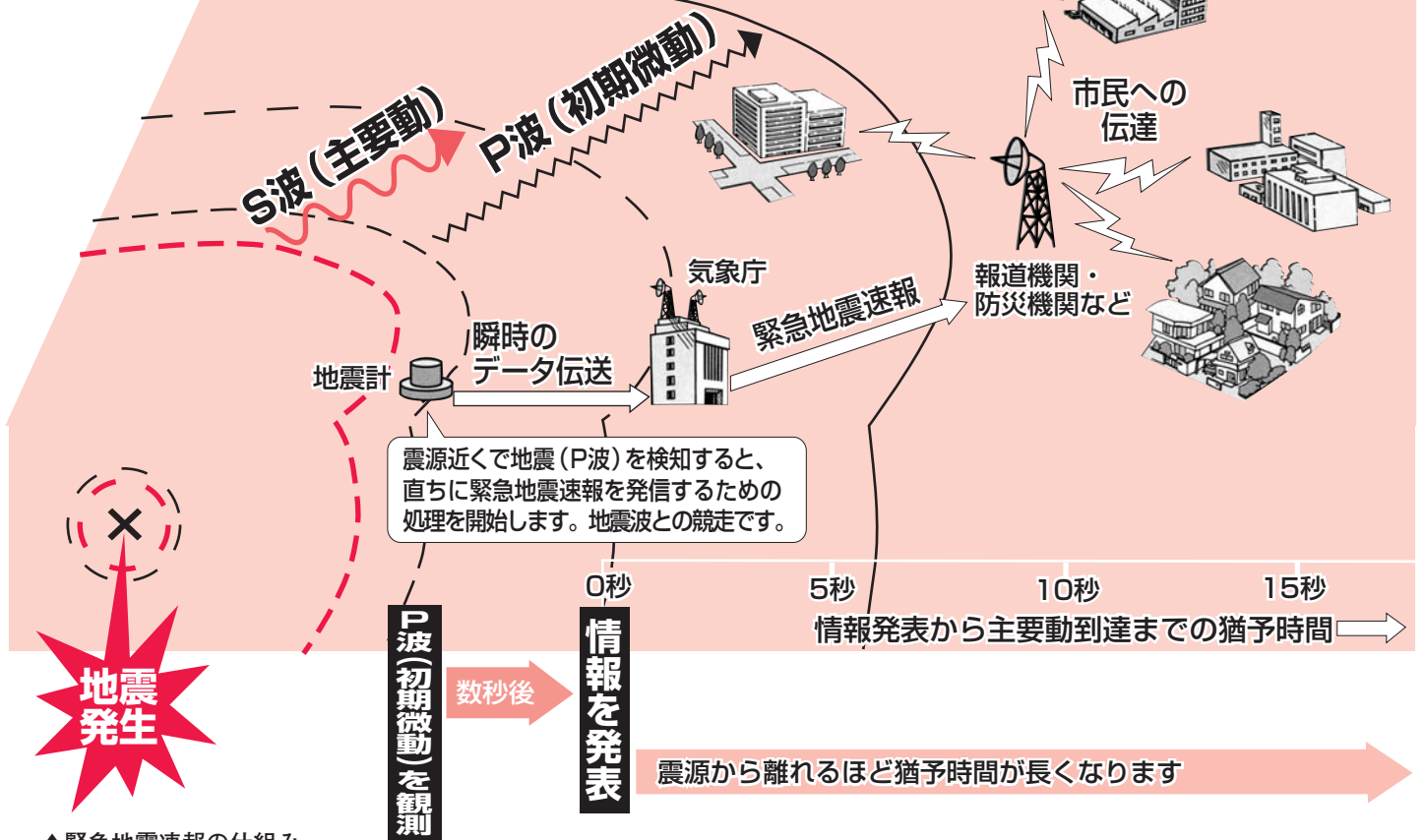


災害への備えは大丈夫ですか

～ 9月1日は防災の日～



▲緊急地震速報の仕組み

地震対策は大丈夫ですか

◎緊急地震速報

気象庁は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ (震度4以上) の地域の名前を、強い揺れが来る前にお知らせする『緊急地震速報』を10月からスタートさせます。地震の揺れは、震源から波紋のように波 (地震波) として伝わってきます。

この地震波には、P波 (初期微動) とS波 (主要動) の2種類があり、最初にP波が伝わり、次にS波が伝わります。

緊急地震速報は、地震 (P波) を観測し、位置や規模、想定される揺れの強さを計算して地震による強い揺れ (S波) が始まる数秒～数十秒前にお知らせするものです。

ただし、震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

【対策】

緊急地震速報は、見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るために、慌てず落ち着いて行動することが大切です。

●家庭では…大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。素早く火の始末をする。ドアや窓などの脱出用出口を確保する。



危険回避



●集客施設では…慌てて出口や階段に殺到せずに係員の指示に従う。
●屋外では…ブロック塀の倒壊などに注意する。看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。
●自動車運転中は…ハザードランプを点灯し、ゆっくり停止する。